

令和5年度「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」の実践校

○ 事業目的

震災と復興に関する地域課題探究学習を通して、福島における震災、復興、そして未来について、自分の考えを持ち、自分の言葉で語ることのできる高校生（「高校生語り部」）を育成する。

この学びの過程で、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、県内外及び海外の高校生等との交流を通して、震災に関わる風化防止、風評払拭につなげる。

○ 実践校（17校）

福島	福島明成	安積	あさか開成	岩瀬農業	白河
船引	小野	会津学鳳	南会津	只見	磐城
いわき総合	ふたば未来学園	相馬	相馬総合	原町	

○ 実践校による主な県外、海外交流先

- ・ 県内8校が、県外・海外の学校の複数高校と交流を行った。

- ・ 福島高校が防災国体（横浜市）に参加、他県の複数高校と交流
- ・ 東京学芸大学附属国際中等教育学校（東京都）と福島高校
- ・ 灘高校（兵庫県）、筑波大学附属駒場高校、成城学園高校（東京都）と福島高校
- ・ Kamnoetvidya Science Academy (KVIS)（タイ王国）と安積高校
- ・ Kamnoetvidya Science Academy (KVIS)（タイ王国）とあさか開成高校
- ・ 活水高校（長崎県）とあさか開成高校
- ・ 崇徳高校、福山市盈進中学高校（広島県）とあさか開成高校
- ・ 熊本北高校（熊本県）と白河高校
- ・ 多賀城高校（宮城県）と白河高校
- ・ 八重山農林高校（沖縄県）と小野高校
- ・ 足立東高校、晴海総合高校（東京都）と南会津高校
- ・ 彦根東高校、虎姫高校（滋賀県）と相馬高校
- ・ 嘉手納高校（沖縄県）と相馬総合高校
- ・ 多賀城高校（宮城県）と相馬総合高校